



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

FEBRUARY, 1987. IV - 8



1986~1987 THEME

「行動の伴った議論を！」— Deeds Not Words Shall Speak —IP
 「心を一つにチャレンジ」— For One And For All Through The Y'S Dom—RD
 「明日に向かって力強く前進しよう」— Onward Tomorrow —DG
 「Y'S Men! Be Romantic」—P

EMPHASIS THIS MONTH : INTERNATIONAL Time of Fast
 JAPAN (豊さと生かされている喜びに感謝を)

Thought for the Month

A new commandment I give to you, that you love one another; even as I have loved you, that you also love one another.

(JOHN 13 : 34)

わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

(ヨハネによる福音書 第13章34節)



**Y'S
 MEN
 INTERNATIONAL**

Club de service des U.C.M.
 Service Club to the YMCA
 Service Club für den CYUM
 Club de Servicio para la A.C. de J.

TIME OF FAST

1986-1987

"UNDERPRIVILEGED CHILDREN"



OUR GOAL IN 1986-1987:

U.S. \$ 100,000

今月の聖句によせて

主イエスの教えられる愛は正にこの聖句そのものであり、富める青年がパリサイ人に言われた「自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ」の聖句と共に主イエスより私達に与えられている根本的な戒めであります。ここには真実に他者そのものを愛する自己犠牲的な愛が教えられており、私達には報いを望まず努め励むことが義務づけられております。

同じ地球上に生を受けながらも先進国の犠牲になって飢餓のどん底にある難民に思いを致し、恵まれている私達は当然彼等に救済の手を差し伸べてゆくべきでしょう。みことばの愛は、信仰を以てあるいは医療面に於いて、あるいはその他色々の面に於いて涙ぐましい献身の奉仕として、多くの困難な苦しみをのりこえて進められております。私達は常にこれらのことを覚えて祈り続けて参りたいと思います。

福永嘉彦

THE CENTENNIAL

今月のことば

二月は“TIME OF FAST”の月です

谷川 寛

今月はタイム・オブ・ファーストの月です。“ファースト”とは“断食”のことです。あの“BREAKFAST”（朝食）のファーストと同じ意味です。ブレイクファーストは“断食を破る”ことを意味します。

ワイズの国際奉仕事業には、BF、IBC、YEPP、その他たくさんありますが、大半がワイズ自身のため、すなわち、メンバー及びその子弟を対象にしたサービス事業です。この中で、タイム・オブ・ファーストのみ、ワイズ以外にその直接の対象をおいた活動をしています。

ワイズは“YMCAの奉仕クラブ”のモットーを掲げていますが、まさしくこのモットーにあった活動が、このタイム・オブ・ファースト事業です。世界のワイズメンが、二月を中心に例会の食事をスキップして集めたお

金は、世界YMCA同盟を通して、世界各国で展開されているYMCAの奉仕活動に使われます。

昨年と今年は、そのテーマを“世界の恵まれない子供達”にしています。今年はパナマ、セネガル、ペルー、インドの各地方YMCAを対象に選びました。いずれのYMCAもその他の“恵まれない子供達”のため、すばらしい奉仕活動を展開しています。今年の募金目標は、10万米ドルです。昨年も同じ金額でしたが、日本は10%に近い貢献をしました。日本の円が強くなったことから、ワイズのみなさんが出されるたとえば、千円がこのすごい威力を発揮します。しかし、出さなければ、ゼロはゼロです。

センテニアルの力強い支援を期待しています!!

中西部新年合同例会

NEWS IN BRIEF

1月28日(日)

於 千里阪急ホテル

に出席率ですか？
今年の新年限合同例会は大変良い中



▲千里ワイズの子弟によるバンドの奉仕出演。全員ダンスをしました。老も、若きも!

▲ニューヨーク時代の同僚のお嬢さんとダンスに興ずる谷川君。



▲センテニアルの女性メンバー及びも参加。あなたのメネットは?

2月例会プログラム

日時 2月18日(火) PM 6:30~8:30

場所 大阪YMCA会館

1. 開会
2. ワイズソング
3. 聖句朗読
4. ゲスト紹介
5. スピーチ「Time of Fast」 谷川君
6. 役員会・委員会報告, YMCAニュース
7. 閉会

当番 第6班

平田、杉本、中川、横山、中村、小林の皆さんです。よろしく。

第2例会は2月25日(水) 奉仕センター

Statistics (統計) 出席に心がけよう

11月例会出席状況 (在籍会員36名)		ニコニコ 献 金	B ポイント	F 11月末累計
メ ン	14名	/	12~1月	274,286 円
出席率	38.89%		切手 935P	
メネット	3名		現金 1,000P	
コメント	1名		累計	
ウィズゲスト	0名		切手 14,956 P	
計	18名		現金 65,520 P	

本年度切手の切りが迫りました。お手許の切手はお忘れなく2月例会へ、若しくは山田BF委員まで。

— Hello! —

大阪YMCA日本語学校の留学生に誌面インタビューしました。(その4)

YMCAサービス委員長 田中 穰 二

① 自己紹介

国、年齢、性別、日本に来て何年になるか
配偶者の有無など

② 日本に来て困ったこと

③ 日本に来てうれしかったこと

④ 日本人をどう思うか

⑤ YMCAに何を期待するか

⑥ 日本語学習の目的

こ しゅう ほん (日本読み)
ふう しゅう びん (中国読み)
胡 修 頻 (中国)



- ① 中国の上海から来ました。28才です。日本に来て2カ月余りになります。独身です。
- ② 日本の物価と学費が高いことと円高です。それから、もうひとつは、今まだ日本語で日本人と自由自
在に交流できないことです。
- ③ YMCAで、いろんな友達と知り合えて、すばらしい日本語の先生に教えてもらえて、このような良
い環境で留学生生活を送れることが嬉しいです。
- ④ 日本人は熱心です。それから、おせじが上手です。本音と建て前が分かりません。また、答えが、Y
ESかNOかはっきりしません。
- ⑤ YMCAで、日本語の他に、文化も勉強したいです。
- ⑥ YMCAで、一年間位、日本語を勉強してから、ファッションデザインを勉強するつもりです。

バルテル マンフロイ (イタリア)



- ① 私は、バルテルです。イタリアから1年半前に日本へ来ました。まだ独身です。ガールフレンドを募
集しています。年齢は26才です。
- ② 生活のスピードが早く、休みが少なくまた人の数の多いことに困りました。
- ③ 日本の生活環境や文化にある程度ふれられたことが、嬉しいことです。
- ④ 日本人はおもしろいです。いつも、まっすぐ話さないです。答えをもらっても、本当の意味はどの
なかわからないので、困ってしまいます。
- ⑤ 日本語を教えるスピードをもっと早くしてほしいです。
- ⑥ 将来貿易関係の、仕事をやりたいのでそのときに役立てるため日本語を勉強しています。

コムサン 赤木 (タイ)



- ① 2年前の9月に日本に初めて来ました。タイ国籍24才昨年9月に日本人と結婚しました。
- ② 日本に来て結婚に至るまでの1年はいろいろな障害が有りました。本来ならことばとか、習慣が問題
になりますが、私の場合は、そんなことを考えている間はありませんでした。
- ③ 日本に来てうれしかったことは、なんといっても結婚出来たことです。
- ④ 日本人だから特別どうこうと言うことはありません。風俗、習慣はちがっても人間考えることはあま
り変わらないはずです。
- ⑤ 受験を意識せずに生の日本語と日本文化が学べればと思います。先生が首をかしげるテキストは問題
だと思います。
- ⑥ 日本で仕事をしても言葉で日本人におとると思われたくありません。

YMCA  TODAY

ご存知だと思いますが……

赤三角



略章

ヨハネ17章21節



正章

YMCAの「赤三角」のマークは正章ではないが、略章として世界中で親まれていてる。その正三角形は、Spirit (霊性)、Mind (知性)、Body (身体)の三辺から構成され、ひとりの人間はこれらの三つの側面の統一体 (Wholeman, 全人)であるという聖書的人間観を象徴している。提唱者はアメリカYMCAの体育主事ルーサー・ギュリック (Dr. Luther Gulick, 1865~1918)である。

このマークの中に、精神と身体とに分裂した近代的人間観へのギュリックの抵抗の姿勢を読みとることができる。今日の時点で、YMCAのこの基本的な主張をとらえ直すとともに、やや視野を拡げ、宗教、文化、自然、そして社会の生態学的 (Ecological) な調和というふう理解してみるのも、また興味深い。

新約聖書のヨハネによる福音書17章21節には次のように書かれている。「父よ、それは、あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、みんなの者が一つとなるためであります。(後略)」

YMCAがキリスト教の教派を超え、さらに国家や人種の隔たりを越えた組織となることへの願いを創始者たちはこの聖句から読みとり、聖書のこの箇所は、いわばYMCAのモットーとなっている。

YMCAの正章の中には、このことを表わすため、開かれた聖書の中に「JOHN 17: 21」と刻まれている。

THE CENTENNIAL

IBO WORLD NETWORK



Dinnie F.C. Lung
676 Carman Ave.
Westbury
New York, N.Y. 11590
U. S. A.

より当クラブ山田直前会長宛クリスマスカードが届いておりました。

ハワイからの招待状!!

ハワイのアサートン・クラブのチャーター一周年記念夕食会への招待状が届きました。開催日は1月24日(土)。
このプレティンが到着する頃には終了しており残念です。
谷川君から CONGRATULATORY MESSAGE を送ってあります。

AN INVITATION

You are cordially invited to be a part of the First Anniversary celebration of the AHERTON Y'S MEN'S CLUB

which will be held on:

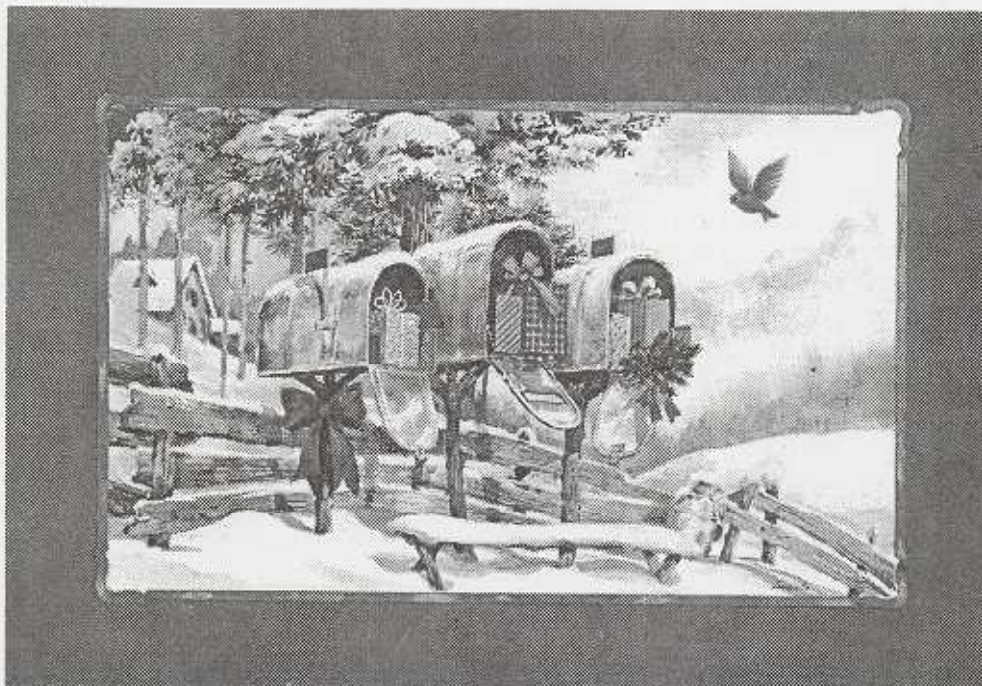
JANUARY 24, 1987, SATURDAY

PLACE: PEARL HARBOR CPO CLUB

TIME: 6:00 PM COCKTAILS
6:30 PM DINNER

COST: \$12.50 I/I

RSVP by January 15, 1987
Glenn Matsukawa, Phone 521-4027 (home) 836-2810 (work)
2786-A Booth Rd.
Honolulu, HI 96813



HAPPY BIRTHDAY

- | | | | | | |
|------------------------|------|--------|--------------------|------|--------|
| 村田 貞夫君 | 2・3 | (1937) | 福永 滋子メネット | 2・16 | |
| 節分草 (デリケートな心) | | | 雪の曙 (高潔な美) | | |
| 松添 壮君 | 2・5 | (1826) | 田中 豊子メネット | 2・19 | |
| 蜚かずら (注目、人気もの) | | | 乱雪 (あなたは私の命取り) | | |
| 川越 利信君 | 2・8 | (1944) | 河野 良子メネット | 2・24 | |
| ミスプリティ (幸福につつまれて) | | | まんさく (私を受け入れてください) | | |
| 中川徹太郎君 | 2・9 | (1951) | 杉本 兎子メネット | 2・24 | |
| ピンキー (この幸せは私のもの) | | | まんさく (私を受け入れてください) | | |
| 坂口 芳良君 | 2・10 | (1947) | 皆本 勝久君 | 2・25 | (1943) |
| バレンタイントレイル (好きになってほしい) | | | ろうばい (大人っぽい表情、気品) | | |

日本区

NOTES
from
ALL OVER

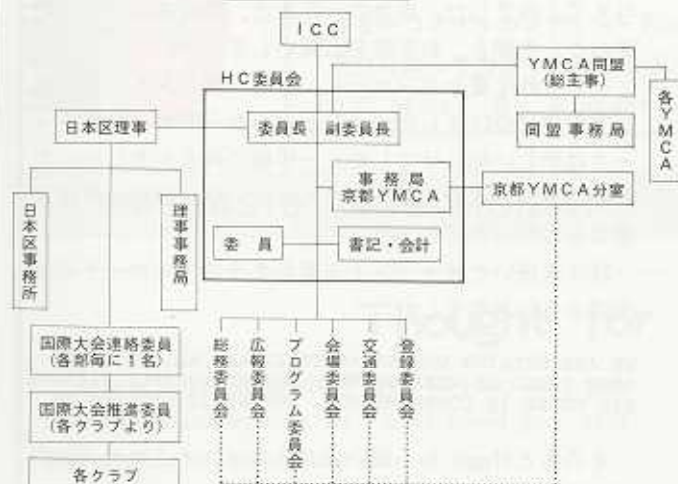
おとなりさん

京都国際大会まであと17カ月

実働委員も決定し下図の組織により

大会が運営されます。

HC組織図



事務局表示

(和文) 1988年ワイズメンクラブ京都国際大会事務局
京都市下京区塩小路通新町西入 新京都センタービル5F 520号室 京都YMCA分室
電話 (075) 341-1619 ファックス (075) 341-1917

(英文) Y'S MEN INTERNATIONAL HC 1988
C/O KYOTO YMCA BRANCH #520 SHIN-KYOTO CENTER BLD.
SHINMACHI-NISHI-IRU, SHIOKOJI-DORI, SHIMOGYO-KU, KYOTO,
JAPAN 600
TEL (075) 341-1619 FAX (075) 341-1917

HC委員会 = Host Convention委員会の略

(日本区報より)

京都バレス 阪田 民明 記
11月9日国際協力基金キャンペーンに初めてコメントと参加させていただきました。なにもわからず集合場所の円山公園に行きますと、Yサの木村委員長と5~6名のメンバーが来ておられ、YMCAのリーダーと子供達40~50名も集まって居ました。西岡主事の御挨拶で始まり、委員長のお話をしてリーダーと子供達による募金キャンペーンのリハーサルが行われ、いよいよ募金場所に行く事になりました。そのころ曇り空より小雨が降りはじめ急いで四条河原町の交差点に行き、いよいよ募金です。街路樹に横垂れ幕を取り付け一列に並び子供達の「アジア、アフリカの難民の子供達の為に募金を宜しくお願いします」の声で始めました。なかなか入れて貰えません。こんな多くの人が行き交っているのに、10分程した時一人の婦人が募金箱に入れてくださった音を耳にし一同大声で「有難うございます。」この時程お金の重みを感じ募金の大変さを思いました。初めは恥ずかしかった私も子供達につられ段々大声を出すようになり、終わりには手を口に当てる程までになりました。私には出来ないと思っていた募金が、子供達のお陰で出来たことを感謝しています。予定の時間が終わる頃には募金箱もすっかり重くなっておりました。多くの人々の真心が、そしてみんなで集めたこのお金がアジアやアフリカまで届くと思うと雨に濡れた事も忘れ、すがすがしい気持ちで終わる事が出来ました。今回の参加者メン13名、コメント3名でした。来年も参加します。皆さんも参加しませんか。最後になりましたが、募金をくださった人々に感謝しております。

(京都バレスブリテン12月号より)

GOINGS & COMINGS

坂田、安福両君が62. 12月末付をもって退会されました。両君共健康がすぐれず、やむを得ないことであり残念ですが、今後のご回復とご多幸を祈ります。いろいろありがとうございました。

CALENDER OF EVENTS

YMCAの行事にご参加下さい。

アジアを囲む会

会場 国際奉仕センター

時間 いずれもPM 6:30~8:30

- (1) 2月23日 (月)
- (2) 3月2日 (月)
- (3) 3月9日 (月)
- (4) 3月16日 (月)

Bulletin Board

- ★ 1月号ブリテン表紙の写真は1枚500円です。希望者は実費を添えて松本書記まで申込んで下さい。
- ★ 1月新年合同例会出席者は次の通りです。
メン=鈴木、山田、森、山村、小林、田中、平田、杉本、谷川、藤本、掛江、河野、杉浦、上月 (14名)
メネット=鈴木、山村、田中 (3名)
コメント=田中 (1名) (敬称略)
- ★ 中西部EMC主査野崎さんから、他クラブ第1例会スケジュール最新報が寄せられました。ブリテン該当欄をコピーして、ご活用下さい。



「悲しき再会」

— 神の御手に —

谷川 有美子

私とその人と再会した時は「悲しい再会、ではありませんでした。それは大変楽しい再会でした。その人とは12月号で黒田徹之さんの紹介された Tommie Francis のことです。

私が会った時は、彼女はガンの手術後でした。以前とは異り大変痩せていましたが元気であり、あの昔の笑顔を決して忘れていませんでした。これがその時の写真です。

私を車に乗せて昔なつかしいところどころに連れて行ってくれました。彼女のリハビリの為、御主人の Hugo Francis と食事療法に取り組み、病いと戦っていました。自然食を中心としたマクロバイオティクス療法です。日系人の書いたこの本を私の夫にも是非読んでほしいと渡してくれたほどでした。再会を楽しみ、私達の昔のロス時代の話、ワイズの話、YMCA や教会の話に花が咲きました。彼女の独特のトミー・スマイルは何時でもその場の皆んなを大変なごませてくれたのを思い出します。夫妻二人して、妻トミーのリハビリのための献身的な



努力をみて、トミーはきっと全快するという確信を私に与えてくれました。再会の一年あと、黒田さんのロス訪問のことを聞き、お手紙をお願いしました。

そして昨年夏のデンマーク。トミー達の友人、K・ハント夫妻に会いました。ハントさんから聞かされたニュースは悲しい知らせでした。一年前の再会が楽しかっただけにショックでした。御主人のユーゴーの悲しみは大変なものだったでしょう。

昨年末届いたK・ハント夫妻のクリスマスカードには次のようがありました。

WE ARE SELLING CHRISTMAS TREES AND ALL IS GOING GOOD. HUGO IS WORKING MANY HOURS PROBABLY BECAUSE HIS HOUSE IS LONESOME NOW. BUT HE IS GETTING OK.

そのあと Hugo から届いたクリスマスメッセージの中に次のように書いてきました。

…やはりガンには勝てなかった。そして彼女を神の御手にゆだねた……と。

完

DATES FOR MAKE-UP & FELLOWSHIP

クラブ名	曜日	時間	場所
サウス	第1火曜日	6:30~8:30	南YMCA
枚方	第1水曜日	6:30~9:00	YMCA宮の坂教育センター
長野	第1金曜日	7:00~9:00	レストラン「千早」
紀の川	第1土曜日	6:30~9:00	和歌山市民会館
大阪	第2火曜日	6:15~8:15	大阪YMCA
千里	第2水曜日	6:30~8:30	千里阪急ホテル
高槻	第2水曜日	6:30~8:30	高槻YMCA
堺	第2木曜日	6:30~8:30	堺YMCA
西	第2金曜日	6:45~8:50	西YMCA
奈良	第2土曜日	6:30~8:30	奈良YMCA
田辺	第2日曜日につく月曜日	6:30~9:00	紀南文化会館
土佐堀	第3火曜日	6:30~8:45	大阪YMCA
豊中	第3火曜日	6:30~9:30	北YMCA
センテニアル	第3水曜日	6:30~8:30	大阪YMCA会館
河内	第3木曜日	6:30~8:30	東YMCA
和歌山	第3木曜日	6:30~9:00	和歌山市民会館
泉北	第3金曜日	7:00~9:00	希望ヶ丘教会

EDITOR'S NOTE WA I ZU MAN 和井寿満のひとりごと

- ★身近な死に人は敏感な反応する。逆に歴史上散見される百万、千万単位の戦争犠牲者数には鈍感な様だ。いずれも人間の本性だ。
- ★SDI, 抑止力, 防衛費1多様などの議論で、キリスト者の平和論を、単純、短絡的、非現実的などと、レトリックにすり替えて、脳へ押しやり、吾こそは正論なりといかにも賢しく、利巧ぶっている人の多いのは何故か。
- ★知性を誇るのもよい。だが過信は墓穴を掘る。知性は、神のことばに謙虚である人間に、神が与え給うた「信託の賜物」だ。そこには「考える自由」と共に神に責任を負うものだ。
- ★知性の正しい使い方を忘れ、賜物である知性が、神を離れ、一人歩きしているのか。
- ★YMCAの正章は、知性も体も Spirit (霊性) = 神のことばから出ていることを表わしていると思う。

ブリテン 村田貞夫 〒659 芦屋市朝日ヶ丘町3-8-305
担当 TEL 0797-32-9204